

2018年3月20日

報道関係者各位

高田製薬株式会社

ドパミン作動性パーキンソン病治療剤
レストレスレッグス症候群治療剤

プラミペキソール塩酸塩錠 0.125mg 「タカタ」

プラミペキソール塩酸塩錠 0.5mg 「タカタ」

効能・効果 および 用法・用量の追加承認を取得

高田製薬株式会社（本社：埼玉県さいたま市南区、代表取締役社長：高田浩樹）は、3月20日（火）、プラミペキソール塩酸塩錠 0.125mg 「タカタ」、プラミペキソール塩酸塩錠 0.5mg 「タカタ」につきまして、下記「効能・効果」および「用法・用量」の追加承認を取得しましたことをお知らせいたします。

この承認により、先発医薬品との適応不一致は解消され、先発品と同様に処方していただけます。

当社は、患者さんや医療関係者の皆さんの声に耳を傾け、ニーズに合った医薬品を提供することにより、医療に貢献してまいります。

記

製品名	プラミペキソール塩酸塩錠 0.125mg 「タカタ」 プラミペキソール塩酸塩錠 0.5mg 「タカタ」
効能・効果 (下線部分を追加)	1. パーキンソン病 2. <u>中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）</u>
用法・用量 (下線部分を追加)	1. パーキンソン病 通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として 1 日量 0.25mg からはじめ、2 週目に 1 日量を 0.5mg とし、以後経過を観察しながら、1 週間毎に 1 日量として 0.5mg ずつ増量し、維持量（標準 1 日量 1.5～4.5mg）を定める。1 日量がプラミペキソール塩酸塩水和物として 1.5mg 未満の場合は 2 回に分割して朝夕食後に、1.5mg 以上の場合は 3 回に分割して毎食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減ができるが、1 日量は 4.5mg を超えないこと。 2. <u>中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）</u> <u>通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として 0.25mg を 1 日 1 回就寝 2～3 時間前に経口投与する。投与は 1 日 0.125mg より開始し、症状に応じて 1 日 0.75mg を超えない範囲で適宜増減するが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて行うこと。</u>

以上

【お問い合わせ先】

高田製薬株式会社 経営企画部 広報課
TEL:048-816-4166 / FAX:048-816-4192
E-mail:koho@takata-seiyaku.co.jp